

平成16年度 リーグ戦個別戦績一覧

+++++ 【第七戦】 +++++

日時 平成16年11月7日(日) 午後3時半キックオフ (晴れ)
会場 綾町松原河川敷グラウンド
相手 ハーレム
結果 2 - 3 (2 - 2、0 - 1)
内容 残念!

これまで大敗を繰り返してきた強豪であり17、8名も揃えている風。逆にフェニックスは13名しかいないため4 - 4 - 2と守備的に布陣した。救いは、県病院3銃士(?)が初めて勢揃いしてくれたことでした。

悪い予感はずぐ的中。開始僅か30秒、一度も味方がボールを触らないうちにフェニックスゴール前に攻め込まれ、あっという間の失点。その後も、圧倒的な戦力で攻め続けられ、10分過ぎにはコーナーキックからヘッドで2点目。暗雲漂う前半でした。

15分過ぎから宮崎 - 早水のセンター守備陣が安定し、藤山 - 三井のボランチ、攻撃MFの戸田 - 工藤、ツートップの黒田 - 橋谷とそれぞれの機能が次第に相手を押し返してきた。そして、20分過ぎ、左サイドの橋谷から相手DFとGKの間に絶妙の浮きパス、これに反応した黒田がワンタッチで相手GKの頭を超えるループシュートで1点を返した。これで攻勢を強めていくフェニックスは、怒濤の攻め。相手DFのクリアボールもことごとくフェニックスが奪い取り、戸田・工藤・三井がミドルシュートを放つなど、相手をゴール前に釘付けさせた。そして、終了5分前、戸田のミドルシュートに反応した黒田の左足がボールのコースを変え相手ゴールに吸い込まれた!これですいに同点!!!!

豊富な交代メンバーを有するハーレムは、後半、20歳台前後の若手を次々と投入し、フェニックスを押し込み返し始めた。交代要員の乏しいフェニックスはそれでも、GK松田の数度に渡るスーパーセーブや堅固なセンターバック陣、無尽蔵のスタミナを持つボランチ三井の活躍、交代で入った渡邊も走り回るなど、何とか相手の攻撃を押し返してきた。しかし、しかし、残り10分を切った頃、守備陣の綻びから1点を奪われ、ジ・エンド。それでも、数名が足のけいれんを起こすなど、ギリギリまで奮闘したフェニックスメンバーでした。

残念ながら、今期は1勝1分7敗となりましたが、最後の試合は強豪相手に充実した試合でした。2部残留できるかどうか、神に祈るのみですが、、、、

参加者 FW(黒田、橋谷)
MF(大井、工藤、三井、戸田)
BF(藤山、宮崎、早水、中園)
GK(松田)
監督 高妻